



9月11日、ひなた保育園の園児たちが、ぶどう狩りを楽しみました。立派に育ったぶどうの前に、終始目を輝かせていました。園児がサポートを受けながら、収穫しているところを撮影。お昼ごはん前ということもあり、ぶどうを頬張るのが待ちきれない様子でした。

山中一揆300年	P02～
市政トピックス	P06～
お知らせ	P08～
真庭が好きっ読者の広場	P20～
研鑽に栄誉	P24～
ぐるっと真庭 まちの話題	P26～

さんちゅういつき

山中一揆300年

私たちは、あなたたちを忘れない

享保11年の冬から12年の春にかけて、美作国（現在の岡山県北部）津山藩で起こった山中一揆。山中地方の参加者3〜5千人、藩全体では最大で数万人とも言われたこの事件は、江戸時代最大級の農民の一揆でした。一揆から300年。歴史に刻まれた人々の思いをたどります。

山中の農民が鎮圧隊に備えて集結したといわれる三坂峠

山中一揆とは

山中一揆は、享保11年（1726年）、津山藩領の山中地方の人を中心として起こった大規模な農民の一揆です。その背景には、相次ぐ洪水や干ばつ、冷害による凶作がありました。さらに津山藩も江戸藩邸の度重なる焼失などで財政難に陥り、農民への負担を強めていました。

藩は農民に、6割の年貢にさらに4割を上乗せし、納期を早めた上、年貢を納めるまで麦をまくことを禁じました。前年の凶作で困窮していた農民に

とって、冬を越すための麦さえまけないことは深刻な問題でした。さらに、幼い2代藩主・松平浅五郎が急逝。領地が幕府領になるとの噂が広がる中、当時の大庄屋が西原郷蔵から米を運び出そうとしたことをきっかけに、不信と不満が高まっていきました。

12月、牧の徳右衛門や見尾の弥治郎らを中心に西触（真庭市を中心とした津山藩の西側地域）の農民3〜5千人が久世に集結し、年貢の減免などを求めて強訴しました。藩はいったん要求の多くを認めたものの、農民の動きは東触（津山市など津山藩の東側地域）にも広がり、納め過ぎた米の返還を求

める動きへと発展。津山藩全域で大庄屋などへの打ちこわしが起こったため、やがて藩は武力による鎮圧に乗り出します。

一揆は翌年にかけて鎮圧され、徳右衛門らをはじめ51人が犠牲になったと伝えられています。その後、山中地方は津山藩領を離れて幕府領となりました。厳しい暮らしの中で立ち上がった人々の記憶はそれぞれの地域で受け継がれ、犠牲者は「義民」として今も顕彰されています。一揆から300年。山中一揆は、地域の歴史とともに、暮らしや社会のあり方を今に問いかけています。

【ことばの解説】

- ・山中（さんちゅう）地方：現在の真庭市北部から西部、新庄村にかけての地域。現在の地域では主に旧川上村、旧八束村、旧中和村の蒜山地域、旧湯原町、旧美甘村など。
- ・触（ふれ）：藩が行政・治安維持のために作った大庄屋の管轄区域。近隣の村々単位の連絡などのネットワークも果たした。
- ・強訴（ごうそ）：大勢の民衆で押し寄せて行っ、強硬な直接交渉。
- ・義民（ぎみん）：年貢の軽減などを求めて領主に直訴するなど、人々のために行動し、犠牲となった人。

義民の軌跡を語り伝える顕彰会

伝

山中一揆で犠牲となった義民を顕彰し、その歴史を後世へ伝える活動を続けている山中一揆義民顕彰会。昭和55年（1980年）の再発足以来、「義民の碑」や案内板の整備、史跡周辺の草刈り、毎年5月に行われる「義民まつり」での慰霊など、地域に残る史跡や記憶を守る活動が続けています。また、各地に残された記録や伝承を調査し、資料としてまとめるなど、山中一揆の歴史を地域で受け継いでいくための活動にも取り組んでいます。



▲「いなっ 禾津「柿の木坂」に立つ山中一揆義民慰霊碑



▲講座には市内外から多くの参加者が

一揆から300年という大きな節目を迎えるにあたり、顕彰会では、これまで積み重ねてきた顕彰活動に加え、山中一揆を改めて学び、考える機会づくりを進めています。令和7年から開催した全8回の連続歴史講座には延べ千人以上が参加。さらに、映画監督・山崎樹一郎さんと参加者がともに創り上げる野外演劇や、過去に上演された演劇作品の映像上映、記念講演など、さまざまな取り組みを通じて300年前の出来事に光を当てています。



▲毎年5月に開催される義民まつり



▲300年を契機に編集された倉敷写真文庫「山中一揆300年」。



▲一揆ゆかりの史跡について説明する浜子さん

義民を慰霊し、その功績をたたえるだけでなく、なぜ人々は立ち上がったのか、その出来事から現代を生きる私たちは何を受け取るのか。顕彰会が続けてきた活動は、地域に刻まれた歴史を改めて見つめ、その記憶と教訓を次の世代へ伝えていく取り組みへと広がっています。



山中一揆義民顕彰会会長
浜子尊行さん

あなたの足元に歴史が眠っている

年表の作成や資料調査を通じて地域の歴史を学び、義民まつりへの参加を重ねる中で、顕彰会の活動に加わりました。前会長の故 植木紋次郎さんのもと、学ぶ側から伝える側となり、6年前から会長を務めています。地域で起きた理不尽な出来事や先人たちの行動を忘れず、物事の善悪や自分なりの判断基準を考える材料として、山中一揆を次の世代に伝えることが、義民の皆さんへの供養になると思っています。300年という節目には、多くの皆さんの協力で多彩な事業を行うことができ、市内外の人の縁がつながる取り組みとなりました。今後も講演会や史跡巡り、資料展示などを通じ、300年事業が終わった後も、山中一揆の歴史を学び、伝える活動を続けていきます。

300年後の今、 歴史を見つめ、つなげる人々

今年300年となる山中一揆を未来に伝えるため、さまざまな事業が開催されています。各事業の様子や関係者の思いを紹介します。

承



▲かつて「雪、柿の木坂」に関わった人たちが当時を振り返る



▲29年前の演劇「雪、柿の木坂」映像上映会



◀演劇ワークショップ参加者たち



◀熱演する参加者

多様な視点から歴史を見つめてほしい

山中一揆300年歴史講座にコーディネーターや講師として参画し、演劇ワークショップにも参加しました。一揆は、義民まつりが行われる湯原だけでなく、蒜山や勝山・久世・落合など、市内の広い地域に関わる出来事です。一揆に参加した人や犠牲者だけでなく、参加しなかった人、生き残った人、犠牲者の家族など、それぞれの立場や悲しみにも目を向けることが大切だと感じます。また、農民と津山藩を一方的に善悪で捉えるのではなく、当時の気候や社会情勢、人々の暮らしや立場を踏まえて冷静に考えることも必要です。300年前の出来事を、その後繰り返された同様の出来事も含め、大きな歴史の流れの中で多面的に見つめ直すこと。主催者の自律性や集団の自治を改めて考える教訓にすべきです。



歴史学者・蒜山郷土博物館館長
前原茂雄さん

この300年をきっかけに、この先の100年につなげたい

私たちは戦争や暴力を「遠い地域のこと」と捉えがちですが、今立っているこの場所でも、300年前に山中一揆が起きました。かつてここで起きた出来事を身体で捉えることで、参加者や観客が今の社会について考えるきっかけになればと思い、演劇という方法で300年事業に関わりました。父の実家がある湯原で、かつて顕彰会の人から聞いた一揆についての思いや、わずかに記憶する演劇「雪、柿の木坂」の当時の熱量。それらは私が映画を作る一つの原点となり、今度は自分がその思いをつないでいこうとを感じるようになりました。演劇ワークショップは、これまで2回の公演を重ね、そのたびに発展しています。3回目となる久世公演を、より多くの人々が山中一揆を知り、今につながる出来事として考えるきっかけにしたいと思います。



映画監督
山崎樹一郎さん

300年前の声を、今の私たちの言葉で。

一期一会のこの機会、あなたも参加してみませんか

申し込み・問い合わせ先：湯原振興局地域振興課 TEL 0867-62-2011 (FAX 2097)

Email: chiiki_yb@city.maniwa.lg.jp

体感する

山中一揆野外公演3

入場無料

300年前、実際に出来事が起こった場所を舞台に演じることで、山中一揆の歴史を捉え直す野外公演。3回目は、農民が打ちこわしを行った久世地域を舞台に上演します。ワークショップ参加者が意見を出し合い創り上げるオリジナル作品です。

300年の時を超えて、歴史を感じてみませんか。



【日時】10月18日(日)(少雨決行) 開演：午後2時

【場所】エスパス土広場

【脚本・演出】山崎樹一郎さん
(映画監督)

真庭市
ホームページ▶



聞く・見る

山中一揆記念講演

入場無料

『百姓一揆を語り、伝えるということ』

(講師：一橋大学名誉教授 若尾政希さん)

【日時】11月3日(火) 開会：午後1時～

対談：午後3時～

(若尾政希さん× 蒜山郷土博物館館長 前原茂雄さん)

閉会：午後4時予定

【場所】湯原ふれあいセンター 【定員】200人(先着順)

【申込】申込フォーム、またはファックスで申し込み 申込フォーム▶



真庭市
ホームページ▶



同時開催

湯原文化祭

企画展

「山中一揆展」

10月31日(土)

～11月3日(火)

▶「山中一揆と蒜山 ～彼らはなぜ立ち上がり、なぜ死なねばならなかったのか?～」は、お知らせ18ページでご案内しています。

歩む

山中一揆伝承祈行(史跡巡り)

山中一揆の史跡やゆかりの地をバスで巡り、歴史とその記憶を訪ねる「山中一揆伝承祈行」を開催します。

健脚コース
11月15日(日)

山道を歩いて、伊平小社(蒜山下和)や弥治郎嶽(見尾)など、普段は訪れることが難しい史跡を巡ります。

※山道を30分以上歩く行程が複数あります。体力や体調を考慮の上、申し込んでください。

通常コース
11月29日(日)

史跡やゆかりの地をバスで巡ります。誰でも参加しやすい内容です。



真庭市
ホームページ▶

申込フォーム▶



集合場所：湯原ふれあいセンター

時間：午前9時～午後4時

参加費：4,000円

定員：各コース20人

案内役：山中一揆義民顕彰会

申込期限：11月6日(金) 午後5時

申込方法：申込フォーム、または市ホームページ上の申込用紙で申し込み(電話申込不可)。

認知症セミナーinまにわ お互いを支える共生社会へ



認知症への関わり方について説明する和田教授



高校生の取り組み発表



世代を超えて活発に協議



高校生から花のプレゼント

9月6日、真庭市役所本庁舎をはじめ、市内5会場をオンラインでつなぎ、認知症セミナーが開催されました。高校生が認知症のイメージカラーであるオレンジ色の花を育てる「オレンジガーデニングプロジェクト」の活動報告に続き、川崎医科大学の認知症専門医、和田健二先生による講演やグループワークを実施。参加者は、認知症の原因や前向きに捉える考え方、認知症になった人との関わり方を学びました。グループワークでは、介護者自身の心の健康を保ちつつ相手をケアすることや、周囲とのつながりをつくる大切さについて、活発な意見が交わされました。

**「令和8年熊本地震被災地派遣職員報告会
災害対応力向上へ」**

8月26日、市役所本庁舎で「令和8年熊本地震」被災地派遣職員報告会が行われました。八代市に派遣された職員からは、緊急消防援助隊としての捜索や避難所支援などの活動が報告されました。また宇城市に派遣された職員は、給水支援などの活動を報告。自治体間応援の重要性を再認識するとともに、今回の経験を生かし、真庭市の災害対応力向上につなげていきたいといった所感が述べられました。



活動報告をする職員



飯ごうで炊いたご飯でおにぎりを作る様子

**美甘地域サマースクール
自分たちで炊いたご飯を味わう**

8月24日、美甘地域の子どもたちが、クリエイティブ菅谷で飯ごう炊飯に挑戦しました。この催しは、学習意欲の向上や居場所づくりを目的に、美甘地域のサマースクールの一環として実施。地域の大人たちもボランティアとして参加し、飯ごうの使い方や火のつけ方などを教えていました。子どもたちは火の勢いに注意しながら、合わせて8合の米を炊き、その後、おにぎりにしておいしく味わいました。



市長室から
こんにちは!

秋、食、生活、文化

春夏秋冬、それぞれの季節でおいしい食べ物がありますが、秋は特に豊富で、「食欲の秋」、「実りの秋」、「豊穡の秋」、「天高く馬肥ゆる秋」など、食に関する言葉が多くあります。この季節に食について考えてみませんか。

<食料自給率について>

食料自給率とは、国内で消費する食料のうち国内で供給できている割合のことで、日本の自給率は、カロリーベースで37%、生産額ベースで65%前後です。農林水産省が比較する主要13カ国の中でも、カロリーベースでは韓国の33%に次いで低い水準です。さらに問題なのは、1961年と比べた下げ幅が最大で40%下がっていることです。フランス、英国、ドイツは10%以上上がっているのに。また、日本は飼料、肥料をほとんど輸入に依存しています。農業基盤の弱体化とともに、食料安全保障の観点からもお寒い限りです。この不安定で危険な現状を農業重視への政策転換と私たちの自覚で変えなければなりません。それは農山村を豊かにすることにもつながります。

<食生活と体力、学力の関係>

文部科学省の令和6年度調査では、小学5年男子の体力合計点は、朝食を毎朝食べる子が53.0点、食べない子が49.5点、中学2年男子では、それぞれ42.2点と38.8点でした。女子も同様です。学力についても、小学6年の平均正答率は、国語が69.5%と55.2%です。算数も65.5%と49.8%で、その差は歴然です。朝の生活習慣は、体力や学力だけでなく、心や自己肯定感、社会性などとも相関関係があると指摘されています。

<食と文化>

食物を調理し、味わうことは、高度な精神文化です。味覚だけでなく、盛り付けや器とも関係します。興味深いのは、和食は磁器より陶器に入れるのが好ましいです。なぜなら、陶器の方がきれに見えるからです。織部、瀬戸、志野、備前など焼き物を使い分け、食物と色や形を合わせると、料理の楽しみが増えます。料理が器になじむことを「景色が出る」と言います。紅葉、月、ススキ、秋草など、秋を感じさせる器で料理を楽しまれたらいかがでしょうか。



染織過程を視察しているイザベルさん(写真中央)

森の芸術祭参加アーティストが真庭を視察
ひのき草木染織工房を視察
9月4日、「森の芸術祭 晴れの国・岡山」2027に参加するイザベル・シカットさんが、ひのき草木染織工房を視察しました。イザベルさんは、フィリピンのマニラを拠点に活動しているアーティストで、森の芸術祭は今回が初参加。のれんなどの制作を手掛ける加納容子さんから制作過程や背景の説明を受けたり、実際に染織作業を体験したりしながら、作品への構想を膨らませていました。



協定書を手に記念撮影する太田市長(左)と高田理事長(右)

日本数学検定協会と連携協定を締結
地域社会を担う人材育成へ
9月10日、市は公益財団法人日本数学検定協会と連携協定を締結しました。今年度立ち上げた高校サテライトキャンパス推進事業を通じて、理数的思考力を基盤としたDX人材、地域人材、課題解決型人材の育成を図るため、これまで協議を進めてきました。今後は、数学検定の実施機会の確保に加え、理数教育プログラムの共同実施や学びのネットワークの形成などを進め、地域社会の発展に寄与していきます。

流行に備えて

令和9年1月31日まで

新型コロナ・インフルエンザ 令和8年度 秋冬ワクチン接種

新型コロナワクチン

- ▶対象者 ①65歳以上の人
②60～64歳で一定の障がいがあり日常生活活動が極度に制限される人
※①②以外の方は任意接種となり、接種費用は全額自己負担となります。
- ▶接種期間 令和9年1月31日(日)まで
- ▶接種費用 (自己負担額) 5,000円(接種回数1回)
※2回目以降の接種は全額自己負担となります。
- ▶接種方法 医療機関へ予約し、接種を受けてください。

インフルエンザワクチン

- ▶対象者 ①65歳以上の人
②60～64歳で一定の障がいがあり日常生活活動が極度に制限される人
③1歳～中学3年生
※高校1年生相当～64歳の方は任意接種となり、接種費用は全額自己負担となります。
- ▶接種期間 令和9年1月31日(日)まで
- ▶接種費用 (自己負担額)
①② 1,300円 ③ HAワクチン2,000円、経鼻生ワクチン 5,700円
※子どもはワクチンの種類によって金額が変わります
- ▶接種方法 医療機関へ予約し、接種を受けてください。

○注意事項

- ・市から接種券の郵送はありません。
- ・子どものインフルエンザ費用助成が受けられる医療機関は、真庭市および新庄村内の医療機関のみです。
- ・県外で接種した人は全額自己負担となります。ただし、定期接種として取り扱うための県外接種の場合は、事前に申請を行ってください。
- ・生活保護世帯の人の費用助成には事前申請が必要です。健康推進課、福祉課、または各振興局へお問い合わせください。
- ・高齢者の新型コロナワクチン、インフルエンザワクチンは定期予防接種B類であり、接種を希望する人が自らの意思において接種するかどうか判断し、接種を行うものです。

問 健康推進課 TEL0867-42-1050(FAX1388)
Email: kksuishin@city.maniwa.lg.jp

真庭市
ホームページ



真庭市の人口

総数 39,189人(-56)
男 18,907人(-23)
女 20,282人(-33)
世帯数 17,198世帯(-21)
令和8年9月1日現在
()は前月との比較

代表電話番号

(地域振興課・出張所)

- ▶本庁舎
TEL 0867-42-1111
FAX 0867-42-1341
- ▶蒜山振興局
TEL 0867-66-2511
FAX 0867-66-4401
- ▶北房振興局
TEL 0866-52-2111
FAX 0866-52-4496
- ▶落合振興局
TEL 0867-52-1111
FAX 0867-52-1939
- ▶勝山振興局
TEL 0867-44-2607
FAX 0867-44-4569
- ▶美甘振興局
TEL 0867-56-2611
FAX 0867-56-2033
- ▶湯原振興局
TEL 0867-62-2011
FAX 0867-62-2097
- ▶中和出張所
TEL 0867-67-2111
FAX 0867-67-2205
- ▶真庭市消防本部
TEL 0867-42-1190
FAX 0867-42-1672



▲にじいろこども園 完成予想図(令和9年4月1日開園予定)



応募総数295件
新設こども園の名称決定

令和9年4月1日開園
予定のこども園の名称に
ついて、7月に名称を募
集しました。応募のあつ
た中から選定した結果、
名称を「にじいろこども
園」に決定しました。た
くさんのご応募ありがと
うございました。

■問い合わせ先
子育て支援課

TEL 0867(42)1054
FAX 0867(42)1388

■真庭市
ホームページ

認定こども園・保育園 入園希望者募集

真庭市内の認定こども園・保育園では、令和9年度の入園申し込みを受け付けます。入園を希望する保護者は、申込期間内に申込書を提出してください。

**申込期間は
10月13日(火)～30日(金)**

※年度途中からの入園を希望する場合も、申込期間内に申し込んでください。

認定こども園

○保育園部

【入園対象年齢】 満1歳の誕生日の翌月1日から

※北房こども園、落合こども園、天の川こども園、にじいろこども園、星のこども園は、生後6カ月から

※久世こども園、米来こども園は、令和3年4月2日～令和6年4月1日生まれ（3歳児クラス～5歳児クラス）

【保育時間】

- ・通常保育（保育標準時間） 午前7時30分～午後6時30分
- ・延長保育 午後7時まで

【休園日】 日曜日、祝日、年末年始

【保育料】 保護者の課税状況などにより算定

※令和6年4月1日以前に生まれた子どもは無料

※延長保育は1日につき200円

○幼稚園部

【入園対象年齢】

令和3年4月2日～令和6年4月1日生まれ
（3歳児クラス～5歳児クラス）

【保育時間】

通常保育 午前8時30分～午後1時30分

【休園日】

土・日曜日、祝日、学年始・夏季・冬季・学年末休業日

【保育料】 無料

保育園

【入園対象年齢】

満1歳の誕生日の翌月1日から

※愛慈園は生後2カ月～2歳児クラス

【保育時間・休園日・保育料】

認定こども園保育園部と同じ

共通事項

【申込期間】

10月13日(火)～30日(金)

【申込方法】

「認定申請書兼入園申込書」に必要書類を添付して、入園を希望する認定こども園・保育園、子育て支援課、または各振興局へ提出してください。

※詳しくは利用案内をご覧ください。利用案内および申込書は、各窓口、または真庭市ホームページにあります。

市内教育・保育施設

○認定こども園（公立）

北房こども園 美川こども園

木山こども園 落合こども園

天の川こども園 河内こども園

にじいろこども園 久世こども園

米来こども園 勝山こども園

湯原こども園 八束こども園

川上こども園

○認定こども園（私立）

星のこども園

○保育園（公立）

月田保育園 美甘保育園

中和保育園

○保育園（私立）

愛慈園

○企業主導型保育事業

ひなた保育園

※詳しくは、直接園へお問い合わせください。

TEL0867-45-0390

問 子育て支援課 TEL0867-42-1054(FAX1388)
Email: kosodate@city.maniwa.lg.jp

真庭市
ホームページ





10月の休日急患担当医

診療時間：午前9時～午後5時

4日

- 金田病院・落合
0867-52-1191 (FAX1917)
- イケヤ医院(内)・久世
0867-42-0122 (FAX5401)

11日

- 落合病院(内)・落合
0867-52-1133 (FAX1160)
- 勝山病院(外)・勝山
0867-44-3161 (FAX5331)
- 新庄村診療所(内)・新庄村
0867-56-3255 (FAX3256)

12日

- 津山中央まにわ病院・勝山
0867-44-2671 (FAX2989)
- みんなのクリニック(内)・久世
0867-45-0379 (FAX0375)

18日

- 勝山病院・勝山
0867-44-3161 (FAX5331)
- 松坂医院(内)・久世
0867-42-3300 (FAX3556)

25日

- 湯原温泉病院・湯原
0867-62-2221 (FAX2223)
- 廣恵医院(外)・北房
0866-52-5020 (FAX5664)

～11月～

1日

- 勝山病院・勝山
0867-44-3161 (FAX5331)
- 遠藤クリニック(外)・蒜山
0867-66-3002 (FAX3366)

3日

- 落合病院(内)・落合
0867-52-1133 (FAX1160)
- 金田病院(外)・落合
0867-52-1191 (FAX1917)
- まにわ整形外科(外)・久世
0867-42-7300 (FAX7301)

8日

- 津山中央まにわ病院・勝山
0867-44-2671 (FAX2989)
- 片岡医院(内)・湯原
0867-62-3400 (FAX3490)

事業者の皆さんへ

省エネ対応機器購入費の50%を補助

事業者省エネ対応 機器導入補助事業

エネルギー価格高騰の影響を受ける市内事業者に対し、エネルギーコスト低減や化石燃料使用量削減のための機器導入や買い替えなどを支援します。

▼対象者

市内に主たる事業所を有する事業者

▼対象経費

- ①省エネ対応機器(LED照明、省電力の空調機器など)の購入、設置に係る費用
- ②ポータブル電源など、化石燃料を使用する方式から、化石燃料を使用しない方式に転換するための機器の購入、設置に係る費用

※購入額の合計が5万円以上

▼基準

- ①目標年度において省エネ基準達成率100%以上の機器
- ②化石燃料を使用しない機器

▼補助率

経費の50% (補助上限15万円)

※1事業者1回のみ

▼申請受付期限 令和9年2月26日(金)

・予算が無くなり次第終了

問 産業政策課 TEL0867-42-1033 (FAX3907)
Email: sangyou@city.maniwa.lg.jp

真庭市
ホームページ



貨物運送事業者の皆さんへ

事業継続を支援

運送事業継続 補助事業

エネルギー価格高騰の影響を受けている中、価格転嫁が困難な物流運送事業者に対し、緊急措置として支援金を給付し、事業の継続を支援します。

▼対象者

市内に営業所を有する貨物運送事業者

▼対象車両と補助額

営業所で使用する各車両ごとの単価に台数をかけた額の合計(上限15万円)

貨物自動車の種類	補助金
①貨物自動車	1台当たり 30,000円
②特定貨物自動車	1台当たり 30,000円
③軽貨物自動車	1台当たり 15,000円

▼申請受付期限

令和9年2月26日(金)

・1事業者1回のみ

・予算が無くなり次第終了

問 産業政策課 TEL0867-42-1033 (FAX3907)
Email: sangyou@city.maniwa.lg.jp

真庭市
ホームページ



事業者の皆さんへ

補助上限を引き上げ

経営革新応援 事業補助金

「経営革新計画」などを策定した事業者に対して経費の一部を補助していますが、DX推進など業務の効率化に取り組む場合は、補助上限を100万円から150万円に引き上げます。

▼対象者

真庭市内に主たる事業所を有する事業者で、「経営革新計画」などを策定し承認を受けた事業者

▼対象経費

設備費、原材料費、出張旅費、広告費、委託費

▼補助率

経費の50% (上限150万円)

※同一事業計画につき1回限り

▼申請受付期限

令和9年2月26日(金)

・予算が無くなり次第終了

・詳しい申請方法などは、ホームページをご確認ください。

問 産業政策課 TEL0867-42-1033 (FAX3907)
Email: sangyou@city.maniwa.lg.jp

真庭市
ホームページ



省エネ対応機器導入補助事業

購入費の50%を補助

省エネ家電で 家計を応援！

エネルギー価格および物価高騰の影響を受ける市民に対し、省エネ家電の新規購入や買い替えを支援します。

▼対象者

真庭市内に住所を有する個人

▼対象機器

エアコン、LED照明器具、テレビ、冷蔵庫、冷凍庫、電気便座、高効率給湯器

▼対象経費

本体および付属機器の市内業者からの購入費、設置工事費の合計

▼基準

省エネ基準達成率100%以上の機器※ハイブリッド給湯器については、年間給湯効率が108%以上

▼補助率

対象経費の2分の1(上限5万円)

※対象機器2種類まで申請可能(上限10万円)

※1世帯1回のみ

▼申請受付期限 令和9年2月26日(金)

・予算が無くなり次第終了します。

・令和9年2月末までに設置を完了するものに限りです。

・この補助金は、国の「重点支援地方交付金」を活用しています。

・詳しい注意事項や申請方法は、ホームページをご確認ください。

問 地域エネルギー政策課 TEL0867-42-5055(FAX3907)
Email: chiiki_energy@city.maniwa.lg.jp

真庭市
ホームページ



まにこいん
獲得ポイント **3倍!**

健康づくり月間キャンペーン

市民の健康づくりと幸せづくりを応援するため、10月の1ヵ月間、まにこいん健康管理機能で獲得できるポイントが3倍になるキャンペーンを開催します。歩数(1日8,000歩以上、1日8,000歩以上が月10日以上)、日々の体重測定記録で付与されるポイントが3倍になります。「健幸」のため、ぜひ取り組んでみてください。



まにこいん健康管理
機能について▲



キャンペーン
について▲

問 健康推進課 TEL0867-42-1050(FAX1388)
Email: kksuishin@city.maniwa.lg.jp

年金相談

前日までに予約を

年金相談会を次の日程で開催します。利用する場合は、相談内容を把握するために、前日までに年金事務所へ予約が必要です。

■日時 10月22日(木)
午前10時～午後4時

※日程以外の年金相談については、津山年金事務所へ行く(要予約)か、電話での相談となります。

■場所 市役所本庁舎

■持ち物 基礎年金番号が分かる書類と本人確認書類

※代理の場合は委任状が必要

■予約先

津山年金事務所お客様相談室

TEL 0868(31)2360

■問い合わせ先 市民課

TEL 0867(42)1112

FAX 0867(42)7455

■真庭市

ホームページ▼



10月は里親月間

里親制度について

それぞれの事情で親と離れて暮らす子どもたちが、日本には4万2千人います。そう

した子どもたちを自分の家庭に迎え入れ、さまざまなサポートを受けながら養育するのが「里親制度」です。子どもたちの心のケアと健全な成長には、温かい家庭に迎え入れられ、自分が愛されていると実感できることが大切です。児童相談所では、里親制度の普及啓発のため里親制度の説明会を開催しています。

また、里親制度に関する情報を、より分かりやすく届けるため、「岡山県里親制度ポータルサイト」を開設しています。里親に関心のある人、里親を希望する人、現在里親の人、企業・団体の人など、立場に応じて必要な情報にたどり着けるような構成となっています。掲載内容は随時更新されるので、ぜひご覧ください。

■問い合わせ先

津山児童相談所

TEL 0868(23)5131

FAX 0868(23)5132

■岡山県

ホームページ▼

岡山県里親制度

ポータルサイト▼

岡山県里親制度

ポータルサイト▼



もしもの時に、あなたは動ける？ 地震から身を守る行動を身につける

「岡山県防災チェック」参加者募集中!

県民一人一人の防災意識の向上を目的に「岡山県防災チェック（岡山県一斉地震対応訓練）」を実施します。地震が起きたという設定で、各自が一斉に、その場で1分程度の「身を守る3つの安全確保行動」を取るものです。また「プラスワン」として、ハザードマップの確認などの防災行動にも取り組んでみましょう。

▶日時 11月5日(木) 午前10時から約1分間
▶場所 家庭・学校・職場など、その時いる場所

地震発生時に身を守る行動の例



DROP! COVER! HOLD ON!

提供: 効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議

＜「プラスワン」の例＞

- ✓ハザードマップの確認
- ✓家具の配置確認や転倒防止
- ✓備蓄品の確認
- ✓連絡方法の確認 など

岡山県
ホームページ▶



参加申込は
こちら▶



▼防災ガイドブック
「ももたらう防災」が
新しくなりました



▼各市町村ハザードマップ
スマホで簡単!
今すぐチェック



問 危機管理課 TEL0867-42-1126(FAX 1119)
Email: kikikanri@city.maniwa.lg.jp

- 対象者
・子宮頸がん検診
- 場所
久世保健福祉会館
- 日時(受付時間)
11月22日(日)
①午後1時30分～2時
②午後2時～2時30分
③午後2時30分～3時
④午後3時～3時30分

忙しい平日になかなか時間が取れない人のため、日曜日に子宮頸がん・乳がん検診を実施します。がんは早期発見と早期治療が何よりも大切です。自覚症状がなくても、定期的な検診が健康を守る第一歩となります。この機会にぜひ受診をご検討ください。家事や仕事で平日の受診が難しい人も参加しやすい日程です。定員に限りがあるので、早めに申し込んでください。

検診を受けましょう 日曜日子宮頸がん・乳がん検診

- 申込期間
10月1日(木)～11月10日(火)
※定員になり次第、締め切ります。
- 申し込み・問い合わせ先
健康推進課
TEL 0867(42)1050
FAX 0867(42)1388
■真庭市
ホームページ▶



- 平成19年4月1日以前の生まれ
・乳がん検診
- 料金(自己負担金)
・子宮頸がん検診 900円
・乳がん検診 1400円
- 持ち物 運転免許証またはマイナンバーカード、検診票(※後日郵送)、料金
- 申込方法 電子申込、または電話で申し込み。
- 申込フォーム▶



お知らせ INFORMATION



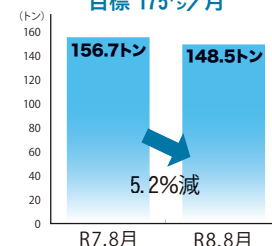
資源循環

で
持続可能なまちへ

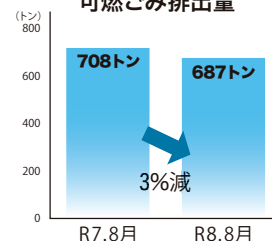
環境課 TEL0867-42-1113

真庭市では、地域資源である生ごみなどをバイオ液肥にリサイクルすることで、可燃ごみの削減を図っています。

生ごみ収集量
目標 175t/月



可燃ごみ排出量



ごみの分別リストと
収集日の確認はこちらから



ごみと資源の
分別ガイドはこちらから



バイオ液肥を使ってみませんか



真庭市役所環境課

参加者募集 乗って学びに巡る

姫新線で行く 社会学習親子ツアー

姫新線に乗って、特色ある地域を巡る親子ツアーの参加者を募集します。「津山まなびの鉄道館」の見学と、秋の「鶴山公園」を散策します。

- ▶日時 11月21日(土)
- ▶集合時間 中国勝山駅 午前10時25分頃
(解散 同駅 午後4時42分頃)
- ▶定員 20人 (最小催行5人)
- ▶料金 大人(中学生以上)2,000円
小人(未就学児~小学生)1,000円
(鉄道運賃・入館料・昼食代込み)
- ▶対象 真庭市内在住の子どもと保護者

▶ツアー内容

- ・中国勝山駅⇄津山駅の鉄道移動
 - ・津山まなびの鉄道館の見学
 - ・鶴山公園の自由散策
- ※昼食会場での食事付

▶申込方法

ホームページ内の申込フォームから申し込み

▶申込期間 10月12日(月)~11月6日(金)

※定員になり次第、受付終了

真庭市
ホームページ



問 共生社会推進課 TEL0867-42-1017(FAX7455)
Email: kyoseisyakaisuishin@city.maniwa.lg.jp

20歳を迎える皆さん

お知らせください

真庭市 20歳の集いのご案内

令和9年(2027年) 真庭市20歳の集いを開催します。真庭市に住所がある対象者には11月に案内状を送付します。現在市外に転出している人でも、過去に真庭市に住所があった人は参加できるので、共生社会推進課までご連絡ください。

- ▼開催日 令和9年1月10日(日)
- ▼場所 勝山文化センター ポンテホール
- ▼対象者 平成18年4月2日から平成19年4月1日生まれの人で、真庭市に在住・在勤の人、または過去に真庭市に住所があった人



真庭市
ホームページ



問 共生社会推進課 TEL0867-42-1017(FAX7455)
Email: kyoseisyakaisuishin@city.maniwa.lg.jp

◀昨年度の様子



10月はピンクリボン月間 乳がんの早期発見・治療 の大切さを伝える

毎年10月は、「ピンクリボン月間」です。ピンクは「優しさ」、「希望」、「命の尊さ」を表す色で、「あなたとあなたの大切な人を乳がんで失わないために」という想いが込められています。

乳がんは、日本人女性の9人に1人がかかり、女性のがんによる死亡原因の上位に位置しています。早期発見・早期治療による10年後の生存率は、90%以上といわれています。早期発見には、日頃からのブレスト・アウェアネス(乳房を意識する生活習慣)と、定期的な乳がん検診の受診が大切です。

- 問い合わせ先 健康推進課
- TEL 0867(42)1050
- FAX 0867(42)1388
- 真庭市
ホームページ



気軽に相談ください

まにわ暮らしのなんでも相談会

「まにわ暮らしのなんでも相談会」では、暮らしの中で

の困り事や悩み事について、福祉や法律の専門家が相談に応じます。困っていることや悩んでいることがある人は、この機会に気軽に相談ください。

- 日時 10月17日(土)
午後1時~4時
- 場所 久世保健福祉会館
- 料金 無料
- 予約 不要

■相談員 弁護士、司法書士、ケアマネジャー、精神保健福祉士、社会福祉士、保健師などの専門家

- 問い合わせ先 弁護士法人
さいわい 真庭法律事務所
- TEL 0867(44)1251

- 真庭市
ホームページ



ハロウィンジャンボ4億円

(1等2億円・前後賞各1億円合わせて)

ハロウィンジャンボミニ4千万円

(1等2千万円・前後賞各1千万円合わせて)

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

各1枚 300円

9月16日(水)2種類同時発売!

発売期間 9/16(水)~10/16(金)

公益財団法人岡山県山形市町村振興協会

お知らせ

INFORMATION

国民健康保険 整骨院・接骨院にかかるとき

整骨院、接骨院で施術を受ける場合、次のことに注意してください。

■国民健康保険が使える場合
①外傷性の骨折、脱臼、打撲、ねんざ

※骨折、脱臼については医師の同意が必要

■国民健康保険が使えない場合

①慢性的な病気

②肩こりや、肉体疲労からの回復目的

③労災保険が適用となる業務中のけがなど

■施術を受ける際の注意点

①療養費支給申請書の負傷原因、負傷名、施術日数、金額をよく確認し、必ず自分で署名しましょう。

②同一のけがについて、病院での治療の重複はできません。

まにあぶり 「まにぞうファミリー」 人気投票結果



まにあぶりに新しく投票機能が追加されました。8月に実施した第1回のテーマは、市内で親しまれているキャラクター「まにぞうファミリー」です。

■投票結果

- 1位 まにぞう 575票
- 2位 まにぼう 347票
- 3位 まにぞうじいじ 275票
- 4位 まにぞうばあば 117票
- 5位 まにネェ 110票
- 6位 まにぞうママ 74票
- 7位 まにぞうパパ 32票

たくさんのご参加ありがとうございました。今後も、まにあぶりを通じて投票の案内をしていきます。ぜひご参加ください。

まにあぶりについては
こちら▶



■問い合わせ先
総合政策課
TEL 0867-42-1169
FAX 0867-42-1353

真庭で働く ふるさとハローワーク真庭



■真庭市
ホームページ▼

TEL 0867(42)1112
FAX 0867(42)7455

■問い合わせ先 市民課
TEL 0867(42)1112
FAX 0867(42)7455

③領収書は必ずもらい、内容を確認しましょう。
④施術が長引く場合、内科的な要因も考えられるため、医師の診断を受けましょう。
⑤施術内容について真庭市から確認する場合があります。
※正しく健康保険が使われていないときは、市が負担した給付費(施術費)を、返還していただくことがあります。

さい。

■日時 10月22日(木)

午後2時～4時(午後1時30分受付開始)

■場所 勝山文化センター

■内容

・真庭エリアの事業所約10社による会社説明、面接

・看護、福祉、運輸のお仕事相談コーナー

・シルバー人材センター、キャリア人材バンク相談コーナー(60歳以上対象)

・職業相談コーナー

■申込方法

ハローワークへ来所し直接申し込み、または電話(事前申込優先)

■申し込み・問い合わせ先
ハローワーク津山相談・サビス第2部門

TEL 0868(35)2672

■真庭市
ホームページ▼

無料です。気軽に参加ください。



市営住宅 入居者定期募集

- ▶申込期限 10月15日(木) 正午
- ▶入居可能日 11月中旬(予定)

地域	住宅名	種別	間取り	戸数	建築年数	家賃(毎月)
北房	水田住宅	公営	3DK	1戸	平成9年度	18,100円～27,000円
落合	立誠住宅	単独	3DK	1戸	平成6年度	15,700円
勝山	組住宅	公営	3DK	1戸	平成6年度	20,300円～30,200円 ※共益費4,000円
	組住宅	公営	3DK	1戸	平成7年度	20,500円～30,600円 ※共益費4,000円

- ・入居希望者数が募集戸数を超えた場合は抽選となります。
- ・多子世帯(同居しようとする親族に18歳未満の児童が3人以上いる世帯)と子育て世帯(同居しようとする親族に小学校卒業前の児童がいる世帯)には抽選回数の優遇があります。
- ・募集中の物件については、真庭市ホームページをご覧ください。
(応募のなかった市営住宅の入居者を随時募集しています。)

問 まちづくり推進課
TEL 0867-42-7781 (FAX 1988)

真庭市
ホームページ▶



第18回 全国水源の里 シンポジウム in 真庭



11月9日、真庭市で「第18回全国水源の里シンポジウム」を開催します。このシンポジウムは、全国の自治体が加盟する全国水源の里連絡協議会が掲げる「上流は下流を思い、下流は上流に感謝する」という理念のもと、地域活性化における流域連携の必要性を共有する場となります。過疎や高齢化が進み、地域活動が困難な状況に直面している農山村集落が全国各地に拡大し続けている中で、求められるのは単に「人口の数」ではなく、「人口×活動量」という視点。こうした視点を持ちながら、地域を越えた連携による新しい地方創生のあり方を模索します。

この機会に、地域活性化や水源の大切さについて、共に考え、学びを深めてみませんか。詳しくはホームページをご覧ください。

シンポジウム

■日時 11月9日(月) 午後1時～5時 ■場所 久世エスパスセンター
■参加費 無料 ※事前申込は不要です。

情報提供

「ふるさと住民登録制度について」
【講師】 総務省
自治行政局地域力創造グループ
ふるさと住民登録制度推進室

パネルディスカッション

テーマ：
「森と水の恵みと人のつながり」

【コーディネーター】
真庭市政策アドバイザー
中川正樹さん



基調講演

「関係人口という新しい仲間」
観光でも定住でもない関係づくりとは？
【講師】
島根県立大学准教授 田中輝美さん



パネリスト



(写真左から) 北房みらいづくりネットワーク空き家活用チーム：平泉繁さん、(株)KANAMS執行役員営業部長：織田紘子さん、地域おこし協力隊：小林建太さん、中和地域づくり委員会前委員長：大美康雄さん



久世税務署からのお知らせ 総合窓口受付時間のご案内

令和8年10月1日から、税務署総合窓口の受付時間が午前9時～午後3時に変わります。受付時間内の来署にご協力ください。総合窓口の受付時間外であっても、開庁時間内(午前8時30分～午後5時)に来署された場合には対応しますが、可能な限り受付時間内の来署にご協力ください。税務署に電話で連絡する場合も、急ぎの場合を除いて、受付時間内の連絡をお願いいたします。税務署の総合窓口では、来署することなく手続を行うことができます、e-Taxやキャッシュレス納付などのオンライン手続を案内しているので、ご利用ください。

■問い合わせ先 久世税務署
TEL 0867(42)0450

■国税庁
ホームページ▼



参加者募集

ユニバーサルスポーツ
フェスティバル2026

誰でもできるユニバーサルスポーツや健康、福祉などを

テーマにしたフェスティバルを開催します。ピククルボールやフライングディスクなどのさまざまな体験ブースや、屋外ではフードコーナーもあります。気軽に参加ください。

■日時 10月18日(日)

午前10時～午後3時

■場所 白梅総合体育館

■参加費 無料

■事前申込 不要

■問い合わせ先

(公財)真庭スポーツ振興財団

TEL 0867(42)1177

■真庭市

ホームページ▼



ご相談ください

無料調停相談会

勝山調停協会が、土地・建物・交通事故・金銭貸借・商品売買などのトラブルにつき、勝山簡易裁判所の民事調停委員が相談に応じる相談会を開催します。身近なめめ事を、裁判所の調停委員が仲介となり、解決していく民事調停制度をご利用ください。

■日時 10月22日(木) 午前9時30分～正午

■場所 久世エスバスセンター

■参加費 無料

■事前予約 不要

■問い合わせ先

勝山調停協会

TEL 0867(44)2040

まちのたからを巡る

景観スタンプラリー開催

昨年開催した「まにあぶり」を使って市内を巡るスタンプラリーの第2弾です。市内7カ所の指定された各スポットに到着すると、GPSにより位置情報が取得され、クイズの回答を入力するとスタンプを獲得できます。真庭の美しい景観や、思わずカメラを向けたくなるような「まちのたから」を訪れてみませんか。イベント終了後にまにあぶりで通知するアンケートに答えると、先着300人に100まいにポイントを得、取得したスタンプの数に応じて抽選で最大3千まいにポイントが当たります。

■開催期間 10月1日(木)～11月30日(月)

■場所 市内(7カ所)

■参加方法

・GPSの位置情報が取得できるスマートフォンで、まにあぶりアプリを事前にダウン

ロードし、まにあぶりアプリ内の特設ページへアクセス※詳しくは、ホームページをご確認ください。

■問い合わせ先

まちづくり推進課

TEL 0867(42)7781

FAX 0867(42)1988

■真庭市

ホームページ▼



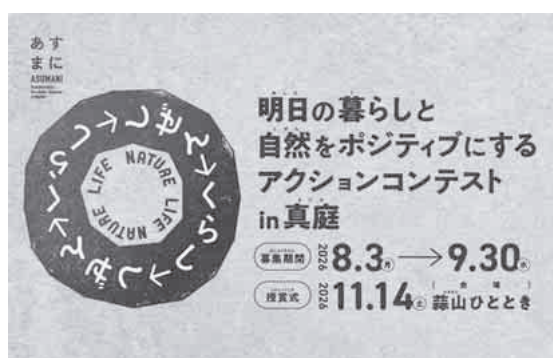
観覧者募集

あすまにプレゼン発表・授賞式

真庭を舞台に、暮らしとともにある自然共生の取り組みを募集するアクションコンテスト「あすまに」のプレゼン発表・授賞式を開催します。

明日の暮らしと
自然をポジティブにする
アクションコンテスト
in真庭

募集期間 2026 8.3. → 9.30.
授賞式 2026 11.14 ① 森山ひととき



当日は、選考を通過した応募者によるプレゼン発表のほか、3人の審査委員による講評やトークセッションを行い、真庭らしい自然共生について考えます。また、真庭市ネイチャーポジティブ宣言を実施します。誰でも観覧できるので、ぜひご来場ください。

■日時 11月14日(土)

午後1時～

■会場 シェアオフィス森山ひととき

■審査委員

近藤倫生さん(東北大学大学院生命科学研究所教授)

古谷知華さん(日本草木研究所代表取締役)

山田紗子さん(山田紗子建築設計事務所代表)

■観覧料 無料

■申込方法 申込フォームから申し込み。

申込フォーム▼

■問い合わせ先 産業政策課

TEL 0867(42)1033

FAX 0867(42)3907

■あすまに

ホームページ▼

■あすまに

ホームページ▼

■あすまに

ホームページ▼

■あすまに

ホームページ▼

■あすまに

ホームページ▼

■あすまに

ホームページ▼

■あすまに

ホームページ▼

■あすまに

ホームページ▼

■あすまに

ホームページ▼



ご理解とご協力を 農地利用状況調査

農業委員会では毎年、遊休農地の発生防止・解消を目的に、市内全域の農地の利用状況を農地法に基づき調査しています。今年も市内の農地を、農業委員、農地利用最適化推進委員が調査するので、農地への立ち入りなどにご理解とご協力をお願いします。

■調査対象 市内全域の農地
■調査期間 12月末まで
■遊休農地とは

1年以上耕作しておらず、今後も耕作される見込みがない農地や、周辺地域と比較して利用の程度が著しく劣っている農地のことを言います。

遊休農地については、今後の農地の利用について意向調査を行います。また、再生が困難であると判断された荒廃農地については、非農地通知を所有者に発送します。

■問い合わせ先
農業委員会事務局

TEL 0867(42)1676
FAX 0867(42)3907

■真庭市
ホームページ▶



蒜山ミュージアムで開催中

ご参加ください

澁澤星展をより楽しむ2つのイベント

蒜山ミュージアムで開催中の「澁澤星(しぶさわ せい)展 ひとのすがたに表せるもの」では、展覧会やアートがより楽しくなるような2つのイベントを開催します。ワークショップでは、既製品を買うものと思われる絵具を自作し、身の回りのものを描いてみます。座談会では、展覧会作家とミュージアムの館長や学芸員とが、美術と伝統のフクザツで面白い関係について語り合います。ぜひご参加ください。

①ワークショップ「えのぐをつくろう」

- 日時 10月17日(土) 午後1時30分～3時30分
- 場所 GREENable HIRUZEN 2階フリースペース
- 対象 小学生以上
- 定員 12人(要予約)
- 参加費 蒜山ミュージアムの入館料のみ
※予約方法はホームページなどでお知らせします。

②座談会「伝統のこれまでとこれから」

- 日時 10月25日(日) 午後1時30分～3時
- 場所 GREENable HIRUZEN 2階フリースペース
- 話者 澁澤星さん / 前原茂雄(蒜山ミュージアム・蒜山郷土博物館 館長) / 三井知行(蒜山ミュージアム学芸員)
※予約不要、蒜山ミュージアムの入館料のみ

問 スポーツ・文化振興課 TEL0867-42-1178(FAX1416)
Email: sportsbunka@city.maniwa.lg.jp

蒜山ミュージアム
ホームページ



「子どもと真庭の未来」
「あそんでもいい」
「子どもは、休んだり遊んだりする
権利を持っています」

子どもの権利条約第31条

「しゅくだいがおおすぎ
る!」これは、夏休みの「こ
どもの権利すごろく」で、
子どもたちからたくさん出た
「なんでやねん!」です。「勉
強は大切、宿題は必要」そ
う思う人も多いでしょう。

この言葉には、子どもた
ちのどんな思いが込められ
ているのでしょうか。「友達
とともっと遊びたい」、「家
族とゆっくり過ごしたい」、「自
分の好きなことをする時間
もほしい」。子どもたちは、
勉強をしたくないのではな
く、遊ぶ時間も大切にし
たいと伝えているのかもしれ
ません。「遊ぶこと」も、
子どもの権利です。遊びは、
子どもが「やってみたい」
を広げる時間です。自分で
考え、試してみる。友達や
地域のひとと話してみる。そ
んな遊びの中で生まれる小
さな発見や挑戦が、子ども

の世界を広げ、個性や可能
性を育てます。そして、遊
びは子どもだけのものでは
ありません。大人も一緒に
遊び、地域で子どもの「やっ
てみたい」を応援すること。
それが、子どもも大人も、
それぞれの「好き」や「やっ
てみたい」を大切にし、お
互いのライフスタイルを応
援しあえる地域につながっ
ていきます。子どもたちの「な
んでやねん!」をきつかけに、
「遊ぶこと」について、一緒
に考えてみませんか。

■問い合わせ先 総合政策課

TEL 0867(42)1169
FAX 0867(42)1353



まにわ
こどものけんりじょうり



真庭市
ホームページ▶



VIVA
まにわ▶

— 蒜山郷土博物館秋季企画展 —

「山中一揆と蒜山 ～彼らはなぜ立ち上がり、
なぜ死なねばならなかったのか?～」

真庭市をはじめ、美作地域一帯を舞台とした大規模な農民一揆である山中一揆。今年は騒動の開始から300年、来年は終結300年となります。市内でも多くの参加者と犠牲者を出したこの一揆は、蒜山にも大きな影響を与えました。一揆の前提にもなった真庭北部特有の自然環境や生業のあり方にも光を当て、事件の本質に迫ります。犠牲者だけでなく、生き残った人々や社会のその後の動向にも注目し、新たな山中一揆像を描きます。本企画展では地域社会の矛盾に向き合う人々の姿を、証言や歴史資料から多角的に示し、現代や未来に向けて、主権者の自律と自治について問い直す機会とします。

- ▶ **展示期間** 9月26日(土)～令和9年9月5日(日)
 ▶ **休館日** 原則水曜日(12月～4月は木曜日も休館)
 ▶ **開館時間** 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
 ▶ **主な展示品**
- ・古文書(蔵富家文書、法華家文書)
 - ・古文書写真パネル
(旧福田神社文書、津山郷土博物館資料、岡山県立記録資料館資料)
 - ・文芸資料(和歌、書籍、原稿)
 - ・民俗資料パネル(大森義民供養祭、田部義民供養祭など)
 - ・史跡パネル
(田部供養墓群、大森供養塔、若山家墓碑、社田供養塔など)
 - ・資料集(これまで刊行された資料集など)

○講演会「山中一揆と蒜山 彼らの死が後世に残したものは？」

■ **日時** 11月22日(日)
午後1時30分～3時

■ **講師** 蒜山郷土博物館 前原茂雄館長

○展示解説会

- 第1回 9月26日(土) 午後2時～
 第2回 10月24日(土) 午後3時～
 第3回 11月22日(日) 午後3時～
 ・いずれも1時間程度
 ・令和9年4月以降も複数回予定

問 蒜山郷土博物館 TEL0867-66-4667(FAX4667)
Email: hiruzen-mus@city.maniwa.lg.jp

真庭市
ホームページ



旧遷喬尋常小学校でイベント開催

楽しい企画が盛りだくさん

— 旧遷日和(きゅうせんびより) —

「木造校舎にひびく音と笑顔、旧遷喬で過ごす、とっておきの一日」

旧遷の愛称で親しまれる「旧遷喬尋常小学校」でイベントを開催します。講堂での音楽ライブや教室ワークショップ、校庭では、スポーツ体験やマルシェなど楽しい企画が盛りだくさん。夕暮れからはビアガーデン風の特別な空間に。子どもから大人まで、歴史ある木造校舎で笑顔あふれる一日を過ごしませんか。

- **日時** 10月12日(月) 午前10時～午後8時頃
 ■ **場所** 旧遷喬尋常小学校および校庭 ※小雨決行(荒天中止)
 ■ **主なイベント内容**
- ・講堂でのライブイベント ・教室を活用したワークショップや出店
 - ・校庭でスポーツ体験(モルックや輪投げ)
 - ・夕暮れビアガーデン ・遷喬小学校児童の未来へのメッセージ展示 ※内容は変更となる可能性があります。

■同日開催

- ・なつかしの学校給食
※事前申込が必要です。



問 スポーツ・文化振興課 TEL0867-42-1178(FAX1416)
Email: sportsbunka@city.maniwa.lg.jp

真庭市
ホームページ



中央図書館

蔵書点検のお知らせ

中央図書館は蔵書点検のため休館します。本の返却は、ブックポスト、または市内の他の図書館へお願いします。なお、3階学習スペースと1階飲食スペースは休館中も通常通り利用可能です。

■休館期間

10月20日(火)～23日(金)

■問い合わせ先 中央図書館

TEL 0867(44)2012

FAX 0867(44)2020

■真庭市

ホームページ▼



映画「炎はつなぐ」

上映会と監督トーク

和ろうそく作りに関わる日本各地の職人の姿を追ったドキュメンタリー作品を上映します。岡山県北の和紙職人やミツマタ農家も登場。自然の恵みと技が描かれます。

■日時 10月31日(土)

■上映時間

・1回目 午前9時30分

・2回目 午後2時

各回、上映後に大西暢夫監督

のトークあり

■場所 中央図書館

■定員 各回52人

■参加費 無料

■申込方法 図書館窓口、または電話、申込フォームのいずれかで申し込み。

申込フォーム▼



■問い合わせ先 中央図書館

TEL 0867(44)2012

FAX 0867(44)2020

■真庭市

ホームページ▼



参加者募集

お泊り図書館2026

中央図書館に泊まって、本に囲まれた読書さんまいの夜を過ごしませんか。

■日時

10月23日(金)午後8時～24日(土)午前7時

■場所

中央図書館

■定員 20人(図書館の利用者カードをお持ちの人)

※小学生以下は保護者同伴

■参加費 無料

■申込方法 図書館窓口、または電話、申込フォームで申し込み(先着順)。

申込フォーム▼



■問い合わせ先 中央図書館

TEL 0867(44)2012

FAX 0867(44)2020

■真庭市

ホームページ▼



落合図書館

もっと知りたい!日本の川と私たちの暮らし

落合図書館開館10周年を記念して講演会を行います。蒜山在住の自然写真家・北中康文さんが、現地へ足を運んで撮影した一級河川の写真をしながら、日本を代表する河川と私たちの暮らしとのつながりについて話します。

■日時

10月25日(日) 午後2時～4時

■場所 落合総合センター

■講師 北中康文さん

■内容

・第1部 写真でたどる、日本を代表する川と人々のつながり

・第2部 撮影の旅での車中泊の工夫や撮影用ドローンなど機材のこと

■定員 50人程度

■参加費 無料

■申込方法 落合図書館へ来館、電話、申込フォームのいずれかで申し込み。

申込フォーム▼



■問い合わせ先 落合図書館

TEL 0867(52)3315

FAX 0867(52)1507

■真庭市

ホームページ▼



新たに広場を整備

第21回北房コスモスまつり

第21回北房コスモスまつりを開催します。今年から新たに広場を整備し、80万本ものコスモスが咲き誇ります。秋の心地よい風にそよぐ、可憐なピンクや白の花が広がる風景をぜひご覧ください。併せて、北房コスモスドームでステージイベントや地元特産品の販売を行います。

■日時 10月11日(日)

午前10時～午後2時30分

■場所 北房コスモスドーム(真庭市上水田3131)

■問い合わせ先

北房振興局地域振興課

TEL 0866(52)2111

FAX 0866(52)4496

■真庭市

ホームページ▼



ファジャーノ岡山

パブリックビューイング

美作地域をスポーツの力でさらに盛り上げるべく、ファジャーノ岡山のパブリックビューイングを開催します。

■日時 10月25日(日)

午後4時キックオフ

■場所 津山文化センター(津山市山下68)

■対戦カード

川崎フロンターレ戦

■問い合わせ先

(株)ファジャーノ岡山スポーツクラブ

TEL 086(948)5654

ありがとうをいただきます

篤志寄附

①(一社)岡山県自動車整備振興会真庭支部落合ブロックから、カーブミラー6基をいただきました。

②株式会社佐田建美から、組子細工(真庭組子)をいただきました。



▲PN おはようさん



▲PN ホットコーヒーさん



今月のテーマ

「息抜き」

「さあ、いっしょ、別世界へ」

PN 38年目のどんぐりさん(西河内)

インターネット、ドライブ、映画、ドラマ、読書、音楽鑑賞、旅行、お昼寝、お菓子、コーヒーを飲む、いろいろな娯楽であふれかえっている令和のこの時代。自分が子どもの頃は、もっぱらテレビゲームか、友達と外で遊ぶことが1番楽しい時間だった記憶がある。今では外で遊ぶ子どもたちをほとんど見かけなくなったのも、色んな娯楽が増えた影響かとも思う。大人になって、平日は朝から夜まで1日仕事で、帰るとクタクタ。その疲れを取り戻すように寝て過ごすことの多い休日がいつものこと。そんな大きく変わった時代の中で昔から変わらず好きな物が一つ、読書。読むジャンルや量は変わったけれど、

いつどこにいても別の世界へ連れていってくれる読書は、自分の中で一番の息抜きだなあと感じる。そんなことを書きながら、最近読書をしていないなあどと気付いた。今月どこかの休日、読書してみようかなと思った。息抜きってなかなか難しいけど、忙しいこの時代の中でこそ、みんな自分の落ち着く時間をあえて作って、しっかり息抜きしてほしい。

「今はまだ踏ん張り時」

PN 風の音さん(鍋屋)

現在、子育て中の私の唯一の息抜き。それは子どもたちが寝た後の静かな一人だけの時間。仕事から帰ったその時から「お母さん」「ママ」の声がずっと家の中で入っている。食事を作る時も、お風呂に入っている時も。なんなら

トイレのドアの向こうでも。ずっと「なあなあ、お母さん」。いろいろな投稿を見ても「お母さんって声が響いているうちが、どんなに幸せだったか」と書いてある。だからね。知ってるんだよ。この時間が振り返ると、絶対に幸せな時間だということ。知ってるんだ。けど…今は、静かな時間をください。ということ、仕事も家庭も怒涛(どたうた)の時間が流れて、子どもが寝た後が、私の時間。やっと自分の好きな音楽が聴けるし、撮りためた番組が見える。そして、ほっと一息のお茶の時間。ゆったりとした時間が流れていく。というのは、夢のまた夢：「なんでまだこの時間まで起きとるん！早う寝なさい！」また、怒号が夜の家に鳴り響く。いつの時代も、諸先輩方も、こうして子育てをしてきたんだ

私の息抜きは、音楽を聴くことです。仕事や家事でちよつと疲れたとき、好きな曲を聴くと、不思議と気持ちが軽くなります。特にお気に入りの曲が流れると、つい一緒に歌ってしまい、気づけば小さなコンサート会場のよう(笑)。誰もいないと思って熱唱していたら、家族にしっかりと聞かれていたこともあります。音楽には、気分をリセットしてくれる不思議な力があります。これからも好

「音楽が持つ力」

PN フクロウさん(久世)

な。ありがとうございます。ゆったりとした時間は、いつかくるんでしょう。その時までは、腹に力を入れて、今日も大きな声で「早う寝なさい！」と「早う起きなさい！」を繰り返す日々が続きます。

お便り
お待ちしております！

メールの場合は
koho@city.maniwa.lg.jp

《12月号読者の広場》

◎テーマは
「運動」です。

日頃取り組んでいることやスポーツに関する思い出など、運動について、200字程度でお寄せください。

◎川柳の兼題は
「刻む」です。

お便り・川柳は、先月号に同封のはがきをご利用ください。締め切りは10月26日(月)です。

Happy 1st Birthday

Photo Book

★対象★

発行月に1歳の誕生日を迎えられる市内在住のお子さん。

★応募期限★

誕生月の前の月の10日まで

★掲載内容★

①お子さんの写真②氏名(ふりがな)③生年月日④住所⑤応募者のお名前と続柄

★応募および問い合わせ先★

総合政策部秘書広報課

〒719-3292 真庭市久世2927-2

TEL0867-42-1163 (FAX1353)

E-mail:koho@city.maniwa.lg.jp



せの お ま ひろ
妹尾 菜紘ちゃん
R7.10.11生まれ(古見)
◎ 貴洋さん・佳苗さん(両親)



もりもと ほ の
森本 帆乃ちゃん
R7.10.10生まれ(神代)
◎ 敏晴さん・由香さん(両親)



やすだ り く
安田 凌久くん
R7.10.23生まれ(惣)
◎ 恭大さん・暖さん(兄)



いそだ まなと
磯田 真叶くん
R7.10.23生まれ(勝山)
◎ 光希さん・優奈さん(両親)

二次元コードから
入力フォームを開
くことができます。



「日課の中の休息」
榎本公枝さん(上市瀬)

庭先の畑を見ると、隅の方で芽が出ているので、「どんな花が咲くかなあ」と楽しみに水やりをします。3日目くらいになると、シャンとした芽になっているので、とにかく水をやり、大事に育てます。観察を続けていると、葉っぱが出てきて、花の芽が出てくるのが分かります。育てていたみんな、水やりを頑張ったかいがあったと大喜びしました。みんなで花の成長を見守るのが、楽しみであり、良い息抜きです。

みとすけTIME

MIT 真庭いきいきテレビ

真庭いきいきテレビで放送している
制作番組を紹介するコーナー
「みとすけTIME」です

◆久世祭り「だんじり喧嘩」生中継！

毎年10月25日、26日の夜、久世地域の市街地中心部に設けられる「喧嘩場」で、だんじり後方同士を激しくぶつけ合う「だんじり喧嘩」を繰り広げる勇壮な祭り。10月25日の「だんじり喧嘩」の様子を生中継でお届けします。午後8時から放送予定です。ぜひご覧ください。



◆真庭いきいきテレビのホームページがリニューアル

運用開始から10年が経過していたホームページをリニューアルし、8月12日から公開しています。モバイルファーストのデザインを採用したことで、スマートフォンでも見やすく、情報が探しやすくなりました。ネットやテレビの各種手続きや、取材依頼フォームなどもあるので、ぜひご活用ください。

その他にもこの広報に挟まれている「番組表」に詳しくご紹介しています。
今月も真庭いきいきテレビをどうぞご覧ください。

MIT ホームページ
二次元コード▶





▲PN むうみんママさん



▲松井勢津子さん

スポーツ大好き
ブイ・ヴァン・チュンさん(下市瀬)
 今回の交流戦でも、みんなと楽しくプレーすることができました。もともとスポーツが大好きで、日本でも何かスポーツをしたいと思い、同僚に相談したことが、ソフトバレーを始めるきっかけになりました。現在所属しているチーム「ピカリン！」は、毎週水曜日に天津小学校の体育館で活動しています。年齢や経験に関係なく、誰でも参加



取材先で、こんにちは。

真庭
 ま にわ びと

できるチームで、初めての人も大歓迎です。ぜひ気軽に練習に参加してください。スポーツを通じて、楽しい時間を一緒に過ごしましょう。



家族でモルックに挑戦
福島基公さん(野川)
 おちあい元氣フェスタのモルック大会に家族4人で参加しました。去年、1位をとれなくて悔しかったので、今年は、学校のグラウンドで練習したり、前日に家族といういろいろな作戦を立てたりと今日に向けて準備してきました。当日はミスをしないうように確実に点を取れるような投げ方をできるように心がけ、良い試合ができて楽しかったです。

認知症セミナーに参加して
吉田元治さん(多田)
 身近な人が認知症になったことから、今回のセミナーに参加しました。講演では腑に落ちる事例が多く、一人で考えていたことについても、いろいろな立場の参加者に話を聞くことができました。介護する側もストレスを感じることが多いと思います。認知症の人を支える人同士、より深く話し合える場があればまた参加したいと思っています。



図書館へ行こう!

本を紹介

真庭市立美甘図書館

〒717-0105 真庭市美甘4134
 TEL0867-56-2613 FAX0867-56-2033
 開館時間 9:00~17:00
 休館日 毎週月曜日、年末年始

今月のおすすめの本

『かぎ針で編む花束ブランケット』

日本文芸社/編 日本文芸社



贈り物にもぴったりの、くると丸めると華やかな花束になるかぎ針編みのブランケットを紹介。また、コースターやシュシュのような小さなものから、花束風のマフラーやバッグまで、レベルや目的に合わせて選べる編み方が掲載されています。

『農家が教えるサンショウづくし』

農文協/編 農山漁村文化協会

青実山椒のしびれと香りを一年中楽しむための保存方法から、サンショウを使ったさまざまなアレンジレシピ、育てる際の気になるポイントや実を売る場合のこつなど、一冊でサンショウの魅力を引き出す方法が紹介されています。



『いきものたちの言い分』

その愛、正直メーワクです。』

こざきゆう/著 田向健一/監修 KADOKAWA



飼い主たちが「よかれ」と思ってとった行動が巻き起こす数々の悲劇。そんなメーワクな愛情に対する生き物たちの心の叫びとは。「知らなかった」では済まない、愛情ゆえのすれちがいについて、楽しく学べる一冊。

『マンガ爆速インストール!』

教科書の日本文学をぎゅっと要約』

高橋大成/監修 えほんの杜

「古事記」「源氏物語」「坊ちゃん」など、日本文学の名作15作品を笑って読める漫画に凝縮。読みやすくアレンジした8ページの漫画で作品のおおまかな流れが分かります。作品の内容や見どころ、作者についての解説も載っています。



かんたん 手話講座

みんな
で
やろう!

問 福祉課 TEL0867-42-1581 (FAX 1369)

今月の手話 『湯原温泉』

手話：福祉課 西 祐典さん



湯原

右手の人差し指、中指、薬指を立て、左手で右手の3本の指を横から握ります。温泉(ゆ)のマークをイメージしてください。



温泉(お風呂)

右手を軽く曲げて、左上腕をこするように上下に動かします。体を洗う仕草をあらわしたものです。

今回の手話を
動画で見てみよう

真庭市公式YouTube▶



もっと手話のことを
知りたい時は

真庭いきいき
テレビを見よう

真庭いきいきテレビのコーナー「手話でしゅわなせ」では、日常で使える手話などを紹介しています。

●毎月第3火曜日

ほっとまにわいどチャンネルで
放送中

MITホームページ▶



▲PN まつおさくやさん



▲PN まつおななさん



蒜山に興味や関心を持つきっかけに

9月10日から29日までGREENable HIRUZENで開かれた、勝山在住の2人の作家による企画展「巡」。蒜山の大地をつくる「黒ぼこ」をテーマに人々の暮らしや歴史を色彩豊かな「はりえ」で表現していました。

川柳 「食べる」 選：真庭川柳協会 瀬島哲子さん

ニュー入れ歯食事の時は外します
夕食時疲れ吹っ飛ばすビール
なす漬けて深き紫母の色
長生きを願って旬の味覚食べ
新米を食べておいしい地元米
暑いのに惚れればれとする食べっぷり
イモヅルを食べた世代は百歳に
人の世の執着ひとつ食うて飲む
減塩でおふくろの味食べられず
猛暑行き食欲そる初さんま
百歳が残さず食べるほっとする
つまみぐい食べて気付いた皿の数
割り勘で食べる料理にリラックス
ダイエット明日からすると又食べる
食べ放題ウエストゴムのズボンはき
秋分にちよっぴりあんこつまみ食べ
すぐ下げて食べたなら遺影も笑ってる

哲子 三田あんこ 梨沙 三田 保恵 節子 酔翁 岩古房恵 ふみこ 室川典子 月あかり 佐藤彰 竹井雪江 中山春子 くらちゃん 小椋茅乃 大原良治 黒田典男 久世 上水田 蒜山東茅部 市瀬 本庄 勝山 上水田 組 目木 蒜山東茅部 下方 勝山 落合垂水 落合垂水 上水田 杉山 三田

■令和8年度全国高等学校総合体育大会剣道大会

8/2～5 奈良県

■第65回岡山県高等学校総合体育大会剣道競技
兼同大会県予選会

6/6～7 倉敷市

男子個人 優勝

江川雄大(下中津井)▶



■令和8年度全日本少年少女武道(銃剣道)錬成大会

8/5 東京都

短剣道小学3・4年生の部 優秀賞

銃剣道小学4年生の部 優秀賞

小林福音(栗原)▶



短剣道小学3・4年生の部 敢闘賞

銃剣道小学4年生の部 努力賞

山崎湊馬(栗原)▶



短剣道中学生の部 努力賞

銃剣道中学生女子の部 優秀賞

小林琴音(栗原)▶



短剣道中学生の部 優秀賞

銃剣道中学3年生の部 優良賞

小林蔵音(栗原)▶



■令和8年度全国高等学校体育学科・コース
スポーツ大会 第33回女子バレーボール大会

8/9～11 滋賀県

■同大会中国・四国ブロック予選会

7/4～5 広島県 準優勝

玉野光南高校一

(写真左から)

赤堀風咲(上水田)、宮田彩加(上水田)▼



■第102回日本選手権水泳競技大会水球競技

8/13～16 千葉県 準優勝

■前年度同大会で所属チームが優勝し、今年度
大会で第1シードとして出場

■第102回日本学生選手権水泳競技大会水球競技

9/9～13 千葉県 優勝

■前年度同大会で所属チームが
優勝し、今年度大会で出場

日本体育大学一

三田夢佳(上水田)▶



■令和8年度全国中学校体育大会 第57回全国中学校
サッカー大会 8/18～23 広島県

■第58回中国中学校サッカー選手権大会

8/3～5 広島県

準優勝

岡山学芸館清秀中学校一

山本奏風(江川)▶



■第70回日本ジュニアゴルフ選手権競技

8/19～21 千葉県

■第31回中国ジュニアゴルフ選手権競技

7/23～24 岡山市 5位

堀田 和(落合垂水)▶



■第11回全日本中学女子軟式野球大会

8/20～26 京都府

■同大会県予選会

5/24 倉敷市 優勝

岡山スカイエンゼルス一

(写真左から)

中原結愛(下方)、西 千咲(久世)▼



岡山県内の表彰など

■第40回小学校バレーボール中国大会

8/2 山口県

混合の部 優勝

落合ジュニアバレーボールクラブ

■2025年岡山県生涯スポーツ功労者表彰

2/20 岡山市

村上光一(田羽根)

■2026 GRAN FONDO WORLD CHAMPIONSHIPS

8/29～30 北海道

■同大会予選大会

6/14 福島県

ロードレース男子 19～34歳クラス
上位25%により
世界選手権に出場

二宗寛行(目木) ▶



■第53回全国酪農青年女性酪農発表大会

7/9～10 沖縄県

農林水産大臣賞

長恒泰裕(蒜山下徳山) ▶



■マルハングループインビテーション大倉カップ 第52回全日本選手権大会

7/17～22 東京都ほか

■2026春季大会第52回全日本選手権中学硬式野球 中四国予選

3/21～5/24 倉敷市 優勝

■第20回全日本中学野球選手権記念大会ジャイアンツ ツカップ

8/10～17 東京都

■ジャイアンツカップポニー 代表決定戦

5/30～5/31 京都府 優勝

ライオンズ岡山ポニー

岡田智貴(鍋屋) ▶



■令和8年度全国高等学校総合体育大会

レスリング競技大会三笠宮賜牌 第73回全国高等学校
レスリング選手権大会

7/23～26 和歌山県

■同大会県予選会

5/30～31 倉敷市

男子65kg級 優勝

■第42回全国高校生グレコローマンレスリング 選手権大会

8/14～16 滋賀県

■同大会県予選会

6/27 浅口市

男子65kg級 優勝

大江陽弦(蒜山下徳山) ▶



■全農杯2026年全日本卓球選手権大会

7/24～26 兵庫県

■同大会県予選会

5/2 岡山市

バンビ男子の部 準優勝

宮永理継(蒜山上福田) ▶



■令和8年度全国高等学校総合体育大会サッカー 競技大会

7/26～31 北海道

■同大会中国地域予選会

6/20～22 鳥取県

女子 優勝

岡山学芸館高校一

城間 稟(蒜山下長田) ▶



■第60回全国道場少年剣道大会

7/28～29 東京都

■第49回岡山県道場少年剣道大会

5/9 美作市

小学生の部 ベスト9

典武館 ▶



小学生の部 敢闘賞

中学生の部 敢闘賞

有隣館道場 ▶



■文部科学大臣杯第68回小学生・中学生全国 空手選手権大会 8/1～2 宮城県

■第50回岡山県空手選手権大会

5/3 浅口市

個人戦中学3年生女子

形の部 優勝 組手の部 3位

■第34回全国中学生空手選手権大会

8/21～23 静岡県

■第57回岡山県空手選手権大会

5/24 岡山市

個人戦中学3年生女子

形の部 準優勝

浅雄友彩(多田) ▶



■第26回全日本中学生男子ソフトボール大会

8/1～3 福岡県 優勝

■同大会県予選会

6/20～21 久米南町 優勝

新見ジュニアソフトボールクラブ
(写真左から)

中島拓治(山田)、森岡哲平(上皆部) ▼



ぐふと まにわ 真庭 まちの話題

ひるぜん夏恋まつりが8月30日、蒜山と湯原の2つの会場で開かれました。2つの地域で開催することで、地域内を巡ってもらうことが狙いです。蒜山会場では、飲食店の出店やDJライブ、ダンスや音楽のステージが行われました。湯原会場では「真庭」のみ「の」が同時開催され、参加者が料理や飲み物を楽しみました。夜には花火も打ち上げられ、夏の夜空を彩りました。



マルシェ会場とCLTパビリオン「風の葉」をバックに歌う配膳ボーイズ



フラダンスの披露



真庭deのみ～の@湯原



催し最後の打ち上げ花火

**「やってみたい」をカタチに
第1回妄想ポスト交流会**

9月6日、中央図書館で第1回妄想ポスト交流会が開かれました。市内の公共施設や図書館などに設置され、「こんなやつてみたい!」を募集してきた妄想ポスト。投稿者の中から約15人が集まり、それぞれが自らの妄想を発表しました。市民の「やってみたい」を起点に人と人がつながり、文化的な活動やイベントが、実際にまちの中で生まれていくことの第一歩になることを目指しています。



投稿した妄想を発表する参加者



持ち寄ったミニ四駆を走らせる参加者

**手作りマシンが爆速疾走
北房でミニ四駆大会**

手の平サイズの自動車模型・ミニ四駆のレース大会が8月22日に北房地域で開かれました。参加者は自慢のマシンを全長約150センチのコースで走らせ、速さを競いました。この日は、ミニ四駆を題材にした漫画を描く那波ナオキさんもゲストで参戦。漫画を通してミニ四駆の魅力を発信している那波さんとの夢の勝負が繰り広げられました。勝敗が分かれるとはいえ、参加者はレースを通して和やかに交流していました。

8/22 プロスポーツとつながろう

親子でふれあうスポーツフェスタが白梅総合体育館で開かれ、市内外から約100人が参加。トライフープ岡山の選手からバスケットボールの技術を教わったり、サインをもらったりして交流を楽しんでいました。



8/23 和綴じ本づくりに挑戦!

日本の伝統的な製本技術、和綴じを用いて本を作るワークショップが勝山文化往来館ひしおで開かれました。表紙と裏表紙には檜西和紙を使っていて、参加者は糸を通すのに苦戦しながら本を仕上げていました。



9/3 外出することが楽しみ

美藤繁子さん（上水田）が9月3日に百歳を迎えられました。デイサービスに出かけることが楽しみだそうです。家でテレビを見たり、好き嫌いせず何でもよく食べることが長寿の秘けつとのことです。



9/5 市内でジュニアサッカー大会

落合総合公園のサッカー場で9月5日と6日の2日間、ジュニアサッカーの大会が開かれました。5日は県内から真庭市を含む12チームが参加。選手たちは日頃の練習の成果を発揮し、熱戦を繰り広げていました。



9/9 スポーツで熱く、楽しく!

社会人対象のバレーのナイターリーグが9月1日、9日、17日の3日間、白梅総合体育館で開催。市内外の20代から70代でつくる18チームが参加し、チームの隔てなく、なごやかに交流していました。



天日干しにする稲を巻く人と手刈りする参加者

9月6日、社地区の棚田で稲刈り体験が開かれ、真庭市と岡山市から訪れた親子が、伝統的な手刈りによる稲刈りを体験しました。社地区では、都市部の人に田植えから稲刈りまでを通して米作りの大変さや収穫する喜びを知ってもらうために、1年を通じてイベントを開いています。参加者は農家の人たちから鎌の使い方や、わらの巻き方などのコツを教わりながら、たわわに実った稲を収穫していました。

伝統の手刈りに挑戦
親子で楽しむ稲刈り体験



12日のビールフェスティバルの会場の様子

9月12日、13日に落合総合公園内でおちあい元氣フェスタが開かれました。12日は市内の美作ビアワークスのほか県内外の5つの店舗がこだわりのビールを販売。訪れた人たちは音楽ライブや家族や友人との談笑を楽しんでいました。13日にはモルック大会が開かれ、市内外から32チームが参加。失敗しても笑って慰め合ったりファインプレーに歓声を上げたりしながら試合を楽しんでいました。

地域ので力で盛り上げる
おちあい元氣フェスタ

真庭市・新庄村

紅葉巡り

高く澄んだ秋空の下、真庭の山々が色鮮やかな錦秋に染まる季節を迎えました。燃えるようなモミジや黄金色のイチョウなど、市内各地で美しい景色が広がっています。この時期にしか出会えない特別な景色を探しに、秋の紅葉巡りへ出かけてみましょう。

見ごろカレンダー

	10月	11月	12月
01 蒜山大山スカイライン（鬼女谷展望台・林道等）			
02 蒜山三座			
03 福田神社			
04 徳山神社			
05 不動滝（男滝・女滝）			
06 美甘溪谷			
07 湯原温泉（妙満周辺）			
08 神庭の滝			
09 神代の四季桜			
10 木山寺			
11 龍門寺の四季桜			

※例年をもとにした予想です。天候等により異なりますので、あらかじめご了承ください。

見ごろ情報



おでかけ情報



OKAYAMA MANIWA
真庭観光局

TEL 0867-45-7111

真庭市久世2511-13「修徳館」内



▲清水ミチ子さん

稲刈りの季節になりましたね。通勤時車窓から見る風景に、稲刈り後の田んぼが増えていき、秋を感じられるようになりました。山中一揆について学びながら、当時の農民には米を作っても主食として食べることが許されなかったと知り、白いお米を食べられる幸せをかみしめています。伝承祈行の健脚コースに参加できそうか、自分のふくらはぎと相談中です。柿本

秋の味覚といえば、皆さんは何を思い浮かべますか。私は断然さつまいも。子どもの頃から大好きなのもありますが、さつまいも料理やスイーツがいろいろなお店で展開されているのを見るたびに、ついつい手を伸ばしてしまいます。さつまいもに特化した飲食イベントも各地で開催されているようです。この秋も、思う存分堪能したいと思っています。今石

まっちゃんのスキッ!!
編集後記